



▲園内に咲く多くのチューリップが、来園者を楽しませていました

4/3
[火]

色とりどりに 咲き誇る春色

3月中旬から4月中旬の期間、**サンテバルクたはら**で恒例の**チューリップフェア**が開催されました。園内には70品種6万本のチューリップが咲き誇り、来園者の目を楽しませていました。フェア開催中には子ども工作教室をはじめ、さまざまなイベントも行われ、大勢の方でにぎわいました。

4/13
[金]

平和の尊さ 次世代へ語り継ぐ

戦没者追悼式が、田原市総合体育館で開催されました。この式典は、平和の尊さを後世に伝えるために、市の主催で無宗教で行われています。遺族や関係者の方など約430名が参列し、2,227柱の英霊に黙とうや献花をささげ、これからも平和が続くことを願いました。



▲戦没者への追悼の言葉を述べる福井春男田原市遺族連合会会長

～渥美半島を元気に!～

山下市長の 元気通信



「明治150年」の年に

今年、明治元年から満150年に当たります。明治は武家社会から近代社会への転換期で、今日の日本社会の礎いしづえとなった時代です。

渥美半島では、明治以降、養蚕業やセメント業、デンブやあめの生産が盛んでしたが、現在は臨海工業地帯での諸工業や商業が経済活動の中心となっています。農業では50年前に通水した豊川用水により多様で新しい農業が生まれ、全国一の産出額を誇るまでになりま



した。

このように産業の発展に伴い、まちの風景や生活、文化は大きく変わりました。そんなふるさとの歴史をこの機会に振り返ってみてはいかがでしょうか。